



公益財団法人=信赖+公益

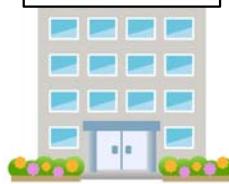
一般财团法人と公益财团法人との違いはどのような点にあるのでしょうか？

一般财团法人は団体の公益性や非営利性や目的などを問われることがなく、一定の財産を用意できれば誰でも設立できる法人です。

一方、公益财团法人となるためには、行政による非常に厳しい公益認定のための審査（18項目の審査）を必要とします。一般财团法人のように登記のみで設立できるものではありません。もちろん非営利です。また、公益财团法人には尊守事項（収支相償、公益目的事業費率50%超等）がついて回りますし、継続的に行政府からの監督もあります。これらのことにより、高い社会的信用を手に入れることができます。

したがって、公益财团法人という名称には公益性の認定と高い信赖度が備わります。

公益财团法人〇〇



财团法人***



日本教育公務員弘済会は2012年4月に内閣府から公益财团法人として認定を受けました。認定を受けるにあたって、内閣府との間で教育目的事業比率を60%としました。

今年度8年目を迎えて、教弘会員の皆様のおかげでますます充実した公益事業を行うことができています。大変感謝しております。今後も内閣府の監督のもと、公益法人の使命としての「民による公益の増進」に寄与するために、公益目的事業の更なる拡充を図り、広く教育界に貢献してまいります。関係各位のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

助成金額

支部奨励賞として、

①学校部門（校長含む）は、

6校（1校につき5万円）とします。

②個人部門は、

10人（1人につき3万円）とします。

Gets!! ~教育論文募集中~

締切日：令和元年9月30日（必着）

応募資格

県内の学校（校長を含む）及び教職員の教育実践論文に助成します。ただし、助成を受けたことのない学校・教職員を優先します。

応募方法

申請する学校・個人は、「教育実践論文申請書」（学校は実践論文様式1、個人は実践論文様式2）及び論文（「日教弘教育賞」要項による。当会のHPで必ず確認）を当会支部長に提出してください。

石川支部HP：<http://www.ishikyoko.jp/>（申請書ダウンロード）

代表取締役就任のご挨拶



株式会社 石川教弘
代表取締役 塩栗 与嗣男

令和元年6月5日の株主総会において、新代表取締役就任の承認をいただきました塩栗です。

今年の3月までは、白山市立東明小学校に学校事務職員として、勤務していました。

石川県公立小中学校教育事務研究会の会長をやらせていただいたときよりのご縁で、（公財）日本教育公務員弘済会石川支部の関連会社（株）石川教弘にお世話になる事になりました。

ジブランタ生命保険株式会社と提携し行っている、教育振興事業（奨学・教育研究助成・教育文化）と福祉事業（福祉給付・福祉助成・記念品）を通じ、教職員の皆さんへの活動をサポートしていくため、微力ながら全力で進んでいきます。

皆様のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

学校教育活動助成（第2次募集）のお知らせ

学校教育活動助成（第1次募集）には68校からの応募がありました。有難うございます。7月9日に選考委員会を開催し、右記の63校への助成が決定しました。（ホームページに詳細な一覧表を載せてあります。）

残念ながら、今回該当しなかった学校様におきましても、内容や費目を再検討していただき第2次募集へ申請していただければと思います。参考にしていただくために、選考委員からの意見や要望等は下記のものがありました。

- ・申請書3の活動内容があまりにも少ないので、判断のしようがない。
- ・必要性が感じられない。
- ・県費・市費等で予算付けできないのだろうか。
- ・固定資産や施設に付属する費目はいかがなものか。
- ・文化祭への助成はいかがなものか。
- ・児童・生徒の移動手段にかかる交通費はいかがなものか。

等々

これらの指摘を受けて、第2次募集では申請書の活動内容欄に必要性が記入できるようにしました。選考委員の方々が活動名・ねらいと活動内容・必要性を十分に把握できるよう申請書にしていきますので、よろしくお願いします。

なお、申請にあたっては、当会のホームページ（<http://www.ishikyoko.jp>）で必ず募集要項・申請書をダウンロードしてご確認・ご記入してください。

<学校教育助成対象校（第1次）>

珠洲市立大谷小中学校	小松市立国府小学校
珠洲市立三崎中学校	小松市立中海小学校
能登町立柳田中学校	小松市立矢田野小学校
能登町立能都中学校	小松市立東陵小学校
穴水町立穴水中学校	小松市立那谷小学校
輪島市立門前中学校	小松市立木場小学校
七尾市立東湊小学校	小松市立丸内中学校
七尾市立朝日小学校	小松市立中海中学校
志賀町立志賀中学校	小松市立松東中学校
宝達志水町立宝達中学校	加賀市立錦城東小学校
羽咋市立羽咋中学校	加賀市立山代小学校
かほく市立高松中学校	加賀市立片山津小学校
金沢市立十一屋小学校	加賀市立分校小学校
金沢市立泉野小学校	加賀市立湖北小学校
金沢市立大徳小学校	加賀市立河南小学校
金沢市立金石町小学校	加賀市立東谷口小学校
金沢市立杜の里小学校	加賀市立片山津中学校
金沢市立三谷小学校	加賀市立山代中学校
金沢大学附属小学校	石川県立門前高等学校
金沢市立緑中学校	石川県立輪島高等学校定時制
野々市市立富陽小学校	石川県立金沢西高等学校
白山市立富城小学校	金沢市立工業高等学校
白山市立東明小学校	石川県立大聖寺高等学校
白山市立河内小学校	石川県立加賀聖城高等学校
白山市立鳥越小学校	金沢大学附属高等学校
白山市立白嶺小中学校	石川県立七尾特別支援学校輪島分校
川北町立橋小学校	石川県立医王特別支援学校
能美市立和気小学校	〃 小松みどり分校
能美市立粟生小学校	石川県立ろう学校
能美市立浜小学校	石川県立小松特別支援学校
能美市立寺井中学校	石川県立小松瀬領特別支援学校
小松市立芦城小学校	



電話応対は難しい？

4月半ば、新年度のご挨拶のため奥能登教育事務所へ行った。事務所へ入るなり、職員全員が起立するではありませんか。久しぶりのおもてなしに戸惑う。以前、ある高校に勤務していた時の就職募集に企業さんを訪問して受けたおもてなし以来だったので、大変恐縮してしまった。

さて、挨拶のことでの思い出したことがある。30年ほど前に金沢市立工業高等学校本科第2部（夜間定時制）へ勤務していた。ここでの事務員さんの電話応対に感心した。電話がかかってくると、「はい、金沢市立工業高校の〇〇です」と返答していた。そのころは、普通だと高校名しか言わなかったから、とても新鮮なそして心地よい感じを受けた。金沢市の電話応対はこうなんだろうと思った。そういうえば、他の高校では自分の名前を名乗らないな！ それからは、電話を掛けた時、相手方の応対に妙に神経質になってしまった。



次に勤務した学校では、事務員の方に名前を名乗るようにお願いした。お願いだったけど、校長からだから業務命令になつたんだろうな。それ以後、その事務員の方は名前を名乗ってくれた。そのうちに近隣の学校の事務員さんも名乗るようになつたので、同じお願いがされたのだと思う。その方は今でもしっかりと名前を名乗っている。素直に嬉しく思う。

今の仕事では、いろんな学校へ電話することが多い。小学校や中学校でもあたり前に「はい、□□学校の〇〇です」と応対される。でも、いろんな事情があって、そうしない学校もあると聞く。私も家電（いえでん）では名前は言わないことについているから、このあたりの事情はよく分かる。みなさんが勤務されている学校や職場ではどうなのでしょうか？ （I・T）